



●ご利用者様、ご家族とらいふ職員をつなぐ架け橋●

らいふ通信

平成31年6月号 第21号 制作: 榊らいふ TEL 03-5769-7268



介護×エンターテイメント よしもとクリエイティブ・エージェンシーと 業務提携を交わしています！

株式会社らいふでは、平成30年11月よりエンタテイメントとご入居者様及び地域住民の皆様との相互連携を創造し、ご入居者様の生活を活気づけることを目的として、株式会社よしもとクリエイティブ・エージェンシーとイベント実施時におけるタレント派遣について提携しております。その取り組みの一環として、代々木事業所、ふれあい介護サービス野方にてよしもとクリエイティブ・エージェンシー所属の柔道芸人「あいすけ」さんをお招きし、「爆笑オンステージ」を開催しました。

今後も介護とお笑いの相関性について共同の取り組みを進めていきます。

【たかせクリニック 山下先生との対談】 第3回 サイズの合った靴選びの重要性



たかせクリニック 山下先生と榊らいふ取締役 小林

たかせクリニック 部長 山下 和彦先生 × 株式会社らいふ 取締役 小林 司

今回ご紹介する対談の内容は、認知症発症のきっかけにも大きく関係のある“歩くこと”をテーマとしています。歩く機能、そしてフットケアの専門家であるたかせクリニックの山下先生をお招きし、弊社取締役の小林との対談を3回に亘り掲載します。

■ 高齢者の歩く機能について

山下 今回、サイズの合った靴選びの重要性について説明します。高齢者にとってサイズの合った靴を選ぶことは、非常に大切なことなのです。

小林 靴選び、ですか。我々の施設では、ご入居時に介護用品のカタログから室内履きを選んで頂くことがよくありますが、どう大切なのでしょう。

山下 小林さんは、靴を購入される際は十分に吟味されますよね？靴屋で、何度も試し履きをしたり、足のむくみを気にして試し履きの時間帯まで慎重に検討する方もいるようです。

小林 なるほど、確かに靴の履き心地にはとても気を使って選びます。それをご入居者も同じように選んで頂けているかと言われると、そこまで気にする方は少ないかもしれませんね。

山下 サイズさえ合っていれば、履き心地は良いはずですが。しかし、一か月後や半年後、本当にサイズが合っているのか、履き心地はどうか、チェックが必要な場合も考えられます。

小林 実はサイズが少し大きかったけど、「少しなら大丈夫だろう」と本人も周囲も気にしない、という状況が発生する、ということですね。

山下 その通りです。サイズが合っていない靴は転倒の原因にもなります。施設内で使用する靴は最も使用する時間が長い靴となりますので、それが合っていないということは、直ちに改善すべきことなのです。

小林 スリッパやかかとを潰して履いている状況には注意するよう指導していますが、介護用の靴のサイズまでは気が回っていませんでした。

山下 これを機に、ぜひもう一度皆様の靴のサイズが適切かどうか、チェックされることをお勧めします。実は、靴の他にも気にしておくべきポイントがあります。それは、足自体の状態の観察です。注目して欲しいポイントは、観察すべき「爪」と「タコやウオノメ」です。

* 対談の全文は榊らいふホームページからご確認いただけます。是非、ご覧ください。

小林 かなりピンポイントですね。

山下 軽視されがちな足の爪やタコ等の皮膚の状態によって、本人が気付かないレベルで歩行のバランスに悪影響を与えています。

小林 爪が伸びていると転びやすいということですか？

山下 それも一つの原因です。他にも、片方だけ爪を切っていたり深爪、片足にだけタコやウオノメが現れていたりすると、左右のバランスが崩れやすくなるのです。

小林 それが歩行に影響して、バランスを崩すということですね。

山下 例えば、革靴の片足のかかとだけすり減っている人を見ることはありませんか？これは、歩行のバランスが知らない間に崩れている証拠です。荷物を片側の肩にかけたり、いつも同じ側の手で靴を持っていたりすると、意外と歩行のバランスは崩れていることが多いです。片方の足にタコができてはいるが、痛みはないから放置している、というケースもあるかもしれません。

小林 入浴時の皮膚状況の観察が重要ということですね。

山下 適切な爪切りや、タコとウオノメの場合は早期の治療が重要になります。日々の訓練としては、足の指のグーパー運動やタオルを掴んで寄せる訓練も効果的です。靴のサイズの見直しや皮膚観察の見直しと共に、ぜひ試して頂きたいと思います。

小林 大変勉強になりました。ありがとうございます。施設におけるフットケアについて、積極的に取り組んでいきます。

(敬称略・一部抜粋)

たかせクリニック 山下先生 略歴
医療法人社団 至高会 たかせクリニック
地域医療研究部部長 工学博士

略歴：
東京大学先端科学技術研究センター 客員研究員
東京医療保健大学医療保健学部医療情報学科 講師
同 教授
大阪大学大学院医学系研究科 特任教授
たかせクリニック地域医療研究部 部長



ウェルカムボード



あいすけさんと社員で記念写真



投げられる
あいすけさん



ふれあい介護サービス野方



あいすけさんご紹介



ご利用者様との組合



あいすけさんプロフィール



吉本クリエイティブ・エージェンシー所属
神奈川県平塚市出身。
柔道で、中学時代には全国3位
横須賀学院高校時代には神奈川県で優勝、
全国8位
柔道三段で、得意技は大外刈り
元全日本指定強化選手

HPによしもとクリエイティブ・エージェンシーとのイベント提携の詳細や、これまでに開催しましたあいすけさんのお笑いライブの様子を掲載しています。右記のQRコードより、らいふHPをご覧ください！



高齢者住宅新聞に 「自衛隊定年退官者の管理者積極採用」の記事が掲載されました！



▲高齢者住宅新聞に掲載された記事

高齢者住宅新聞社から自衛隊定年退官者の管理者積極採用についての記事が掲載されました。自衛官退官者だからこそ管理者として生かせる強み、自衛隊組織の中で長年培ったルール遵守の意識、高いモラル・規律、また、多数の部下を指導した経験を持つ自衛隊定年退官者の強みに着目し、施設管理者として積極的に採用を行っております。その経験を施設の管理者の業務にも活かしていることをお話ししております。

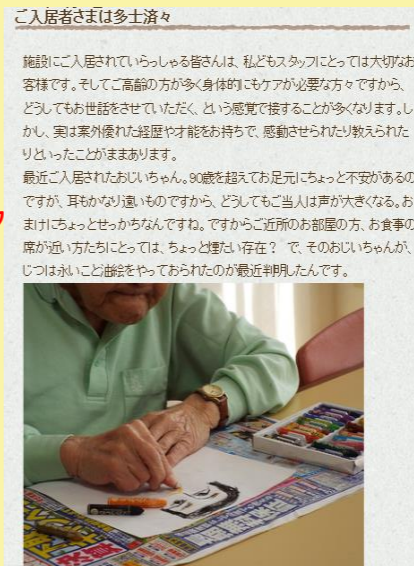
ブログの達人！読みたくなる施設のブログをご紹介します！！

～ホームステーションらいふ二俣川のブログ～

らいふにとって『広報活動・PR活動』とは『地域で理解され、信頼関係を築き、最終的にファンになってもらうためには、まず【知ってもらう努力】が必要』とあります。まさにそれをブログを使って実践されている施設があります。今回は、**ブログの書き方が非常に長けている施設のスタッフにコツをお伺い致しました。**

- 【読みたくなるブログのコツ！】
- ・書かれている事が**共感できる内容**になっているか！
 - ・リズムカルに、**短く伝えること！**
 - ・掲載する写真にも**工夫**を！

各施設ブログを更新しております。施設に足を運ぶ事が出来なくても、ご入居者の様子をご覧頂けます。



▲らいふ二俣川ブログの一部記事

Check

らいふ二俣川のブログは
こちらから

らいふ全施設のブログは
こちらから

※QRコードから見る事ができます。是非、ご覧下さい。

Abema TVの情報番組(テレビ朝日系列) 「Abema Prime」の取材が行われました！

テレビ朝日系列・月曜～金曜日21:00～に放送されている情報番組「Abema Prime」より「自衛隊OBの仕事ぶり」の取材依頼があり、3月18日月曜日にらいふ川越の鶴本施設長が取材を受けました。



・取材の様子↑→

鶴本施設長は、初めてのテレビ撮影で少し緊張したようです

取材内容

- 1 転職先に介護施設をえらんだ理由
- 2 自衛隊と介護の世界で違和感はないか
- 3 介護の世界に飛び込んで困ったこと
- 4 自衛隊での感じたやりがいと、介護でのやりがい
- 5 自衛隊で培ったスキルを介護でどうやって活かしているか
- 6 今の施設での不満や悩みはあるか

看護師会議を開催致しました！

看護師会議はなぜやっているの？

らいふが今後どういう取り組みを行っていくのかを取締役より、ご説明をし、看護師に共有致します。また他施設がどういう取り組みを行っているのか、施設が抱える様々な困難にどう対応しているのかを共有します。会議を通して学んだ事を施設に持ち帰り、専門職としてご入居者の健康面や安全・安心を推進していくためです。

看護師会議の様子



内容は、帯状疱疹・肺炎球菌のワクチン化の取り組み、フットケア推進やカニューレ取扱い、レジオネラ菌対策などを話し合っております。

